

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

平成 26 年 12 月 19 日改正
(平成 27 年 1 月 1 日適用)

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 旅人とたいようの会

②施設・事業所情報

名称：特別養護老人ホーム かいさいの華		種別：介護老人福祉施設	
代表者氏名：施設長 宇野 恵里		定員（利用人数）： 29名	
所在地：岐阜県海津市平田町野寺1092番地1			
TEL：0584-60-0017		ホームページ： http://www.keibonokai.org	
【施設・事業所の概要】			
開設年月日：平成24年10月1日			
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 恵母の会			
職員数	常勤職員： 17名	非常勤職員	12名
専門職員	（専門職の名称）看護師 2名	社会福祉士	1名
	介護支援専門員 1名	管理栄養士	1名
	介護福祉士 7名	准看護師	1名
施設・設備 の概要	（居室数）10室（多床室6、個室5）	（設備等）浴室	1室
	機能訓練室・食堂	脱衣室	1室
	理事長室	洗濯室	1室
	多目的室	リネン庫	1室
	会議室	汚物処理室	2室
	相談室	倉庫	1室
	事務室	更衣室	3室
	静養室	ポンプ室	1室
	医務室	食品庫	1室
	キッチン	厨房	1室
	喫茶コーナー	トイレ	9室

③理念・基本方針（※転載）

<p>法人理念：寄り添う介護 思いやりをカタチに・・・共に地域で生きて行くために</p> <p>基本方針：住み慣れた地域で安心した老後を</p> <p>「住み慣れた地域で、見慣れた景色の中、なじみのある人たちに囲まれながら、いつまでも安心して暮らしていきたい」という思いに寄り添う介護を目指していきます。</p>
--

④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

市及び関係機関、地域住民や同業種の事業所と良好な関係を維持し、役割分担しながら地域に根ざした施設にと努めている。地域密着型施設として地域貢献や地域交流する機会として、介護予防おためし会を継続的に実施し、ボランティアを日常的に受け入れて、施設での生活が閉鎖的にならず地域に開かれた施設にと「街角福祉の拠点」を目指し着実な歩みを刻んでいる。

県の受託事業として介護チャレンジスクールを毎年実施し、子ども、親、祖父母世代にも施設の理解が得られるように、入所者と触れ合いの時間や体験講座を取り入れた内容で、参加者からは好評を得る活動に発展し、毎回テーマを決めて工夫しながら積極的に取り組んでいる。

施設が小学校と道路を隔てた場所に位置しており、チャイムが聞こえグラウンドに響く児童の遊び声や歓声を耳にし、活発に躍動する児童の姿をガラス窓越しに微笑んで眺める利用者に寄り添い、温かく穏やかな雰囲気過ごせるようにしている。

職員の働きやすい職場を目指し、特に女性管理職がロールモデルとして多く存在し、子育て世代の女性職員に対しては、企業型保育所の利用や保育料の全額補助も行い、岐阜県子育て支援企業としての登録や岐阜県介護人材育成事業者グレード2の認定を受けており、更にグレード1に向けて前向きに取り組んでいる。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成30年8月27日（契約日） ～ 平成30年12月25日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	0 回（平成 - 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

住民や地域のニーズを取り入れ地域の特性を活かして、地域福祉の拠点を目指すために努力している。関係機関とも良好な関係を維持し、安心して暮らし続けられる住民の生活をも視野に、施設ができることから予防事業や防災支援にも前向きに取り組んでいる。福祉避難所の指定を目指し協定書の締結及び危機管理包括支援チームを結成し、住民との連携及び協力体制づくりをしている。

地域に開かれた施設に向けて、子ども110番の登録、応急手当協力事業所の認定やAEDを設置し、住民がいつ駆け込んでも受け入れや貸し出し体制を整えている。介護予防おためし会の実施、配食サービスの協力、民生委員との連携やボランティアとの関係など、関係機関との信頼関係も構築でき、入所者や施設間の障壁がなく普通の生活が継続できる支援をしている。

子どもから大人までを対象に福祉教育の実践として、介護チャレンジスクールを毎年

実施している。専門業者や高校生ボランティアの協力も要請し、遊びを入れた体験講座として施設、高齢者や福祉機器等の理解が得られる工夫をしている。終了後はホームページに様子を知らせ、参加者と入所者の触れあいは笑顔が多く誰もが挑戦したくなる働きかけをしている。

道路を隔てた小学校の様子が目と耳から入り、日常の学校生活以外にも運動会の招待、収穫野菜の贈呈、マラソン大会の応援等で、入所者と児童との交流が他者を思いやる心の情操教育にもつながる関係にして、つながりを深める努力をしている。

施設の特性で24時間365日の就労ができるように、企業型保育所の利用や保育料の全額補助も行い、職員が安心して働ける環境の整備に努めている。女性が多い職場ゆえに、女性の社会での活躍並びに家庭と仕事の両立を全面的に支援する体制にしている。岐阜県子育て支援企業としての登録や岐阜県介護人材育成事業者グレード2の認定を受けている。

天井が高く開放感がある共有スペースは、日差しや温湿度を定期的に確認し、日よけのヨシズ、床暖房や加湿器を使用し、快適に過ごせる環境に努めている。中庭で野菜栽培、イルミネーション飾り、ホールに季節の花を生け観葉植物を置き、カウンターで金魚を飼うなど、入所者も職員も心身ともに穏やかで温かな雰囲気になっている。

毎週に協力医、隔週に歯科医師の訪問診療があり、休日や夜間帯でも協力医の指示が得られ、緊急時は往診にも対応してもらい安心できる体制にしている。歯科衛生士が毎週口腔ケアを実施し、口腔健康管理を受けて口の中を清潔に保ち、医師と歯科医師との連携で全身の健康維持と口腔疾患の予防につなげている。

◇改善を求められる点

ホームページは写真を多く掲載し、入所者の生活の様子がわかりやすくしてあるが、一部更新されていない部分があり定期的な更新が望まれる。閲覧環境のない人にも施設の方針や様子を知らせる機関紙は発行を中断しており、再発行する努力も望まれる。

家族が持参された嗜好品等は、家族が在室時にのみ摂取可能としており、食事や他の入所者への影響、食べ物の誤嚥等を考慮してではあるが、食事外での楽しみもあり職員が立ち会う、飲食物内容や量を確認し身体状況に影響を与えない範囲での許容も配慮されたい。

運営規程に機能訓練の実施を明示しているが、重度者も多く評価もしづらい状況となり、実際の訓練実施者は少数の入所者のみであり、生活リハビリとして日常生活動作のなかで取り入れ、本人ができる能力を維持できる取り組みにも努力されたい。

施設と地域の架け橋となり応援する仲間として「ささえる会」が存在しているが、会議や催事への参加協力のみになっており、再度関係者と話し合い活動できる機会を増やしサービスの質の向上につなげる検討も望まれる。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

当施設では、今回初めて第三者評価を受審致しました。職員と共に自己評価することで、日常業務のなかで「できていること」「努力が必要なこと」に気付くことができ、改めて6年余りの事業運営を振り返る良い機会となりました。

高い評価を頂いた点につきましては、今まで積み重ねてきた介護実践や、施設運営について確信を持ち、さらなる一歩を進めていきたいと思っております。同時に改善すべき指摘を頂いた点につきましては、職員間で課題を共有しつつ改善に向けた取組みを行っていききたいと思っております。

多くの方々の声を大切に、街角福祉の拠点を目指し、職員一人一人が力を合わせ、より良い施設となるよう努力してまいります。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。